

# 新宮津火電、公害発生は否定できない

## 宮津市民の過半数が反対署名



大塚元子議員

会議で教育長は「府民の理解を得ている」と事実を反する答弁を行った点をとり上げ大塚議員は「実情はそうならない、各中学校では、今進路指導が行われているが、父母の質問に、学校長は『私

### 新宮津火力発電所

もよく分らない』と言う状態や、府の教育委員会幹部が、地域の説明会でも父母の質問に、まともに答えられず、立往生して混乱が起きている。こういう状態では六十年

また、新宮津火力発電所の建設は絶対に反対であるとし、関西電力の行った環境影響調査は、たった一年間であり海のメカニズムは解明されていないままで信用出来ないこと、大気汚染、漁業に対する被害、酸性雨による農作物への

### 高校教育制度

高校教育制度改革について、本

だ」とのべました。

# 学研都市は住民参加ですすめるべきだ

## 地元自治体に多額の財政負担与える

六月十日に放映されたKBS京都「政治を語る」に出席した福山議員は現在計画中の府南部の京阪奈文化学術研究都市問題について次のようにその計画について指摘しました。

文化学術研究都市の建設と言っ

ているが「看板に偽り有り」で、今だに文化学術施設の建設が決まっていないこと、また先端産業の誘致については、全国各地ですすめられているテクノポリス構想にもとづく先端産業の誘致すら計画通りすすめられていないことから、現在のままでは宅地開発だけになる危険性が強いことを指摘しました。また、地方自治体に多額の財政負担を与え、住民の要求する切実な公共施設

となることを指摘、自治大臣官房企画室内地方自治政策研究会のレポートも同様の指摘をしていることを紹介しました。

また、学研都市の道路計画に当たっては多くの住民組織や地元区長が反対しているにもかかわらず、問答無用としてこれがすすめられていることを指摘し、住民の参加により自主・公開・民主の原則によって計画をすすめるべきだと主張しました。

### KBS京都「政治を語る」

### 抗議と申し入れ

被害等具体的に数字をあげ反論しました。また、自・公・新政等の会派は賛成論の中で、蜷川前知事のエネルギー研究所構想の継承であると言ったため、大塚府議は、「蜷川前知事は電力九社の出資により総合エネルギーの研究を主張したもので、火力発電所は一貫して反対をしておられた。前知事の

意向を継承するというのであれば林田知事は反対されるのが筋ではないか」と反論しました。また、大塚府議は、宮津市民の過半数が建設反対の署名をしている、府下最大の漁協、伊根漁協も反対をしているのに強行するのは府民の声を無視するものだ」と強く林田府政を批判しました。

京都「人権啓発映画」制作実行委員会が「部落ここに生きる」と称する映画を作製した。個々の団体が映画をつくり上映するのは自由である。問題は京都府がこの映画の作製にあたって二千万円の補助金を出し、さらに府同対室の名で府下の自治体にたいして一方的にこの映画と請求書（一本あたり三十万円）を送りつけていることである。

そのうえなにも問題なことは、啓蒙、啓発活動の最低の条件である「事実に基づいて」が守られていないことである。三保川ダム貯水問題、長田野工業団地就職問題、八幡団地入居問題、園部町木崎における堤防問題等あきらかに事実と反する描写がされている。京都府当局は、内容も見ずにこのような事実と反する映画にたいして補助金を出したことを反省し、補助金の返還を求めると。

京都府知事 林田悠紀夫殿

一九八四年七月十三日

日本共産党京都府委員会  
日本共産党・革新共同京都府会議員団



福山敏夫議員